

平成 21 年 5 月 10 日
上海産業情報センター
駐在員 吉田真樹

上海万博開幕まであと 1 年 ～ 開催準備が進む万博会場を公開～

2010 年 5 月 1 日の開幕まで残すところあと 1 年となり、上海万博の開催準備が進んでいます。目標入場者数を 7000 万人とする上海万博は、万博史上最大の万博となる見込みです。

開幕 1 年前を記念し、建設が進む万博会場が関係者に公開されました。今回のレポートでは、万博会場の建設の状況とあわせて各方面の準備状況について報告します。

1、上海万博の概要

都市型の万博 ～ Better City, Better Life ～

21 世紀はじめての万博として注目を集めた愛知万博。愛知では環境が大きなキーワードになり、さまざまな展示と取り組みがなされ、たくさんの効果をあげることができましたが、上海万博ではその環境を意識しつつも愛知万博から方向性を転換し、都市型の開催計画となっています。

会場予定地は上海市の中心部を流れる黄浦江を挟む両岸 328ha を観覧エリアとし(愛知万博の約 4 倍) 目標入場者数を 7000 万人とする大規模なものです。2008 年 8 月の北京オリンピックと同様、中国の近代発展をアピールする絶好の機会であり、間違いなく国家の威信をかけて開催されることでしょう。

本年 3 月 27 日からは万博チケットの販売も開始になり、5 月 1 日には開幕 1 年前イベントが北京と上海で開催されるなど、開幕に向けて機運が高まっています。



建設が進む万博会場

(上海万博のプロフィール)

名 称：2010 年上海国際博覧会 (Expo 2010 Shanghai China)

テ ー マ：より良い都市、より良い生活 (Better City, Better Life)

会 期：2010 年 5 月 1 日～10 月 31 日 (184 日間)

会場面積：328ha (観覧エリア)

入場者数：目標 7000 万人 (一日あたり平均約 40 万人/日、ピーク時 78 万人/日)

開園時間：9：00-24：00 (開館時間 9：30-22：30)

入 場 券：1 日券 160 元 (約 2400 円)

2 . 世界からの参加

2 3 3 の国と国際機関による参加 ~よせられる日本、愛知への期待~

世界的な経済危機をよそに、参加出展の国と国際機関は現在も追加の登録が進み、2009年4月の時点でその数は233に達しています（愛知万博は125）。経済危機の影響で出展を取りやめる国が出るのでは？との心配も一部でありましたが、今のところ取りやめる国や機関は出ていないようです。

また7000万人の入場者数にうち、海外からの来場者については5%、350万人と見込まれており、その観光効果も期待されています。

海外から訪れる見込みの350万人の観光客のうちやはり日本や韓国からの来訪者が最も期待されており、その割合は30%、約100万人を占めると予測されています。昨年度、日本から上海を訪れた観光客は102万6700人（上海市旅遊局）となっており、日本からの来訪者は予測を大幅に超えるものと期待されています。特に愛知県は前回の万博開催地でもあり、イベントやボランティアなどの市民の参加意識が高く、現在すでに、私のもとにも愛知県の企業から多くの問い合わせがよせられています。

3. 企業の参加と市民の参加

(1) スポンサーとサプライヤー

世界一競争が激しい中国市場を反映してか、スポンサーへの参加には協力金数億元が必要とも言われ、ハードルが高くなっており、日系企業を始め多くの外資系企業には手の届かない結果となりました。それでも中国市場を重視し、上海との関わりを最重要ととらえている外国企業も何社か参加を果たしています。例えば、米GM（ゼネラルモーターズ）、米コカコーラや独シーメンスなどです。また、これらの企業は、上海万博のメインスポンサーとなっているため万博会場でもパビリオン出展などで目にするようになるでしょう。

そのほかにも、会場内外では飲食店やオフィシャルグッズ販売など多くの営業活動が計画されており、今後、日系企業の万博ビジネスへの参加の可能性も見込まれます。すでにサプライヤーとして参加が決まっている日系企業は、JTB、コングレ、乃村工藝社などです。これらの企業は、チケット販売や会場運営などの業務を担当する予定です。また4月には会場内の飲食業者を選定する第一次募集があり、中国の飲食業者に加えて、ケンタッキーやピザハット、スターバックスなどが参加することになりました。第二次募集も7月まで実施されています。今後さらに、オフィシャルグッズを扱うことができるライセンス契約を締結することを望む企業の募集などが予定されています。

メインスポンサー（グローバルパートナー）13業種14社

中国東方航空、中国移動通信、上海汽車・ゼネラルモーターズ、コカコーラ、シーメンスなど

上海万博のブランド使用权を有し、パビリオンの優先出展件が付与されている。その他、会場内の独占商業権やイベント協賛優先権を有する。

シニアスポンサー7業種8社

上海均瑶、シスコシステムズなど

各種特権はグローバルパートナーに準じるが、優先権はグローバルパートナーにある。

(2) ボランティア募集

愛知万博でもその役割が大きく評価されたボランティアによる市民参加については、上海万博でもその理念が継承され、5月1日より広く募集が開始されました。

上海では東方明珠広場でボランティア募集始動式が開催され、市内72ヶ所のボランティアステーションと6つの上海万博ボランティアネットで募集されています。

(<http://www.expo2010.cn/a/20090421/000027.htm>)

12月31日の締め切りまでに7万人の応募があるものと見込まれています。

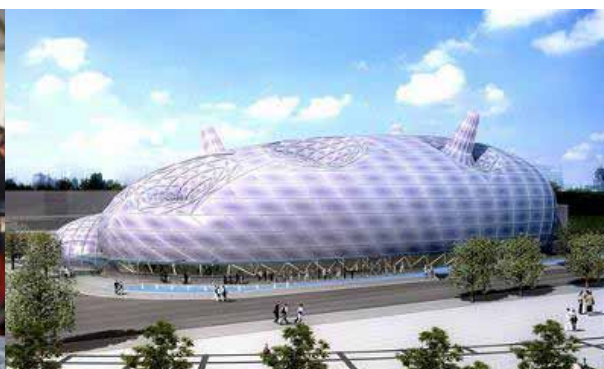
4. 日本の参加

日本館の建設スタート

わが日本政府も会場内Aエリア内の6000平米の敷地に日本パビリオンの設置を決めています。去る2月27日には福田康夫前首相を迎えて、日本館起工式が執り行われました。また4月には公募による日本館の愛称が決まりました。愛称募集期間中3588通の応募があり、中国の主婦の提案による「紫蚕島」が愛称として正式に決定されました。



日本館起工式の様子



発表された日本館の完成予想図

写真提供：日本貿易振興機構

また日本からは、日本館に加えてもうひとつ日本産業館がパビリオン出展を決定しています。日本産業館は上海万博日本産業館出展合同会社を中心となって、民間企業や自治体が連合して出展する展示館となる見込みです。現在、日本産業館へは県内企業のINAX、横浜市、静岡県を始めとする14の企業と自治体が参加を表明しており、今後も出展招請が続けられます。同館は、黄浦江沿いに残る旧江南造船所工場跡の改築・利用によって、展示が計画される予定になっています。

また日本館とは対岸に位置するベストシティ実践区には、大阪府・大阪市がパリ、西安、バンクーバーなど7地域と共に出展します。愛知県には、愛知万博に何らかの形で関わった人材が多く残っており、上海万博での活動に、愛知万博の経験や知識を持って活躍することが大いに期待されています。様々な取り組みを通じて、愛知万博の取り組みが上海万博にも継承され、その理念が継続的に活かされていくことを願っています。